～長年の活動が評価されました～

第 50 回朗読録音奉仕者感謝状贈呈式　「一宮市朗読グループききょう」

令和2年11月18日(水)に本会大和事務所で贈呈式が行われ、公益財団法人鉄道弘済会・社会福祉法人日本盲人福祉委員会から以下のみなさまに感謝状が贈呈されましたので、ご紹介します。

「朗読録音」とは、書籍を朗読し、その音声を収録することです。収録された書籍は「録音図書」と呼ばれ、視覚に障害のある方の重要な情報源となります。録音図書の仕上がりを、より良いものに手直しすることを「校正」といいます。

伊藤さんは「朗読録音奉仕者・全国表彰」を受賞されました。さまざまなジャンルの書籍を録音図書にするのが得意で、利用者の方のニーズに素早く対応し、作品を仕上げてくださいます。
「朗読録音を始めたきっかけは、自分の時間に余裕ができたことと、本を読むことが好きだったからです。今後も朗読録音を利用している方たちからの様々なリクエストに応じていきたいと思います！」

伊藤　勝子さん

豊田さんは「朗読録音奉仕者・地区表彰」を受賞されました。文庫本の録音制作が得意で、広報紙の制作を長年担当されてきました。
「一宮市朗読グループききょうの設立当初から地道に活動してきました。個人宅へお伺いして訪問朗読を行うこともあります。こんなに長く活動を続けられたことに自分自身が驚いています(笑)」

豊田　保子さん

古田さんは「校正奉仕者・地区表彰」を受賞されました。普段は録音図書の制作を行っていますが、そのほかにも校正者として後輩の指導をされているリーダー的な存在でもあります。
「自分が困難にあった時に、大勢の人々に支えられ助けられました。今度は自身が誰かの役に立ってみたいと思い朗読録音を始めました。本の素晴らしさや面白さをより多くの方に伝えたいと思い、日々楽しく活動しています。」

古田　滋子さん

ボランティア功労者に対する厚生労働大臣感謝状

「点訳グループ　コスモスの会」

令和 2 年度全国社会福祉大会にて「点訳グループ　コスモスの会」に厚生労働大臣感謝状が贈呈されました。コスモスの会は昭和 58 年に設立され、長年にわたり点字図書の作成や児童・生徒への点字の指導に携わってきました。また、毎年七夕の時期に、尾西庁舎に設置される「福祉七夕笹」の短冊の点訳もしています。感謝状贈呈に対し、メンバーのみなさんは「歴代の先輩方のおかげで、ここまで続けることができました。今後も先輩方の技術や思いを引き継いでいきたいです」と話してくださいました。

受賞されたみなさん、おめでとうございます！